

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「インベスコ MSC I コクサイ・インデックス・ファンド」は、このたび、第16期の決算を行いました。

当ファンドは日本を除く世界各国の株式（DR（預託証券）およびカントリーファンドを含みます。）を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ
MSC I コクサイ・
インデックス・ファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型



第16期末(2017年11月20日)	
基準価額	21,961円
純資産総額	6,202百万円
第16期	
騰落率	22.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第16期

(決算日 2017年11月20日)

作成対象期間 (2016年11月22日～2017年11月20日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

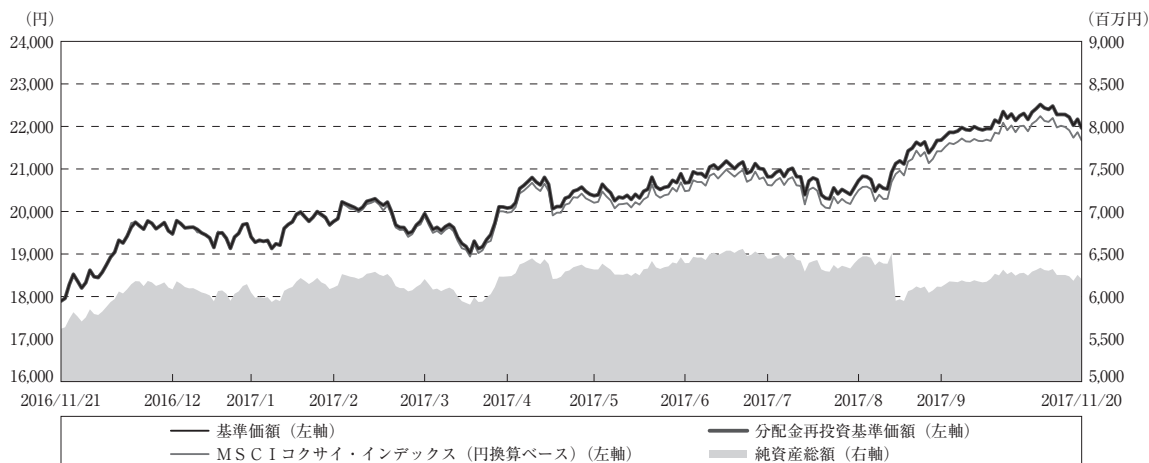
お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2016年11月22日～2017年11月20日)



期首：17,895円

期末：21,961円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：22.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)は、期首(2016年11月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を除く世界各国の株式(DR(預託証券)およびカントリーファンドを含みます。以下同じです。)を実質的な主要投資対象としているため、ドイツ、米国、フランスなどほぼ全ての世界の主要株式市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の対円での為替ヘッジを行わなかったため、米ドル、ユーロ、英ポンドなどのほぼ全ての投資対象資産の通貨が対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・特筆すべき事項はありません。

1万口当たりの費用明細

(2016年11月22日～2017年11月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 153 (66) (66) (22)	% 0.754 (0.323) (0.323) (0.108)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式) (投資信託証券) (先物・オプション)	3 (1) (0) (2)	0.013 (0.005) (0.000) (0.008)	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式) (投資信託証券)	0 (0) (0)	0.002 (0.002) (0.000)	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	13 (7) (3) (4) (0)	0.066 (0.033) (0.013) (0.019) (0.001)	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等 その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	169	0.835	
期中の平均基準価額は、20,285円です。			

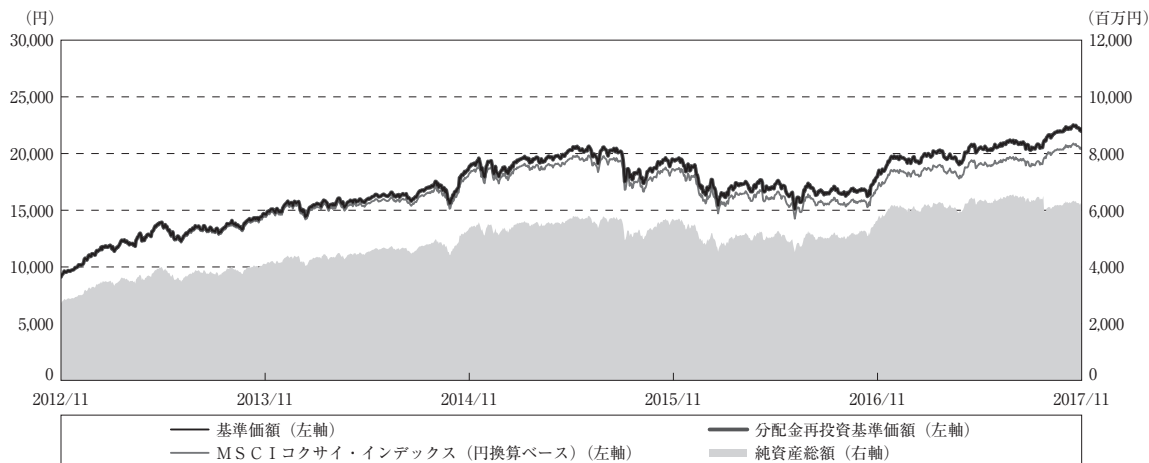
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年11月19日～2017年11月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)は、2012年11月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年11月19日 決算日	2013年11月19日 決算日	2014年11月19日 決算日	2015年11月19日 決算日	2016年11月21日 決算日	2017年11月20日 決算日
基準価額 (円)	9,118	14,646	18,719	19,517	17,895	21,961
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	60.6	27.8	4.3	△ 8.3	22.7
MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)騰落率 (%)	-	58.2	25.9	2.6	△ 9.8	21.1
純資産総額 (百万円)	2,718	4,108	5,340	5,692	5,621	6,202

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

投資環境

(2016年11月22日～2017年11月20日)

S & P 500 指数 (米国)	+17.5%	F T S E 100 指数 (イギリス)	+9.0%
D A X 指数 (ドイツ)	+22.2%	C A C 40 指数 (フランス)	+17.9%
米ドル/円 112円19銭 (前期末110円95銭)		ユーロ/円 131円76銭 (前期末117円64銭)	

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

<米国株式市場>

米国株式市場は、期初から期末にかけておおむね上昇基調で推移しました。米国トランプ政権のロシアゲート疑惑や北朝鮮との対立による地政学リスクが意識されて軟調に推移する局面もあったものの、①雇用を中心に米国経済の基礎的条件 (ファンダメンタルズ) が比較的堅調さを保ったこと、②良好な企業決算、③2017年9月下旬に30年ぶりとなる法人税、所得税の減税案が発表されたこと一などを材料に、株価は大きく上昇して期末を迎えました。

<欧州株式市場>

欧州株式市場はおおむね上昇しました。フランス大統領選挙をめぐる懸念や、中東や北朝鮮などの地政学リスクの高まりが意識されて神経質に推移する場面もあったものの、①企業決算が好調だったこと、②良好な欧州の経済環境が続いていたこと、③フランス大統領選挙で親欧州連合 (EU) 派のマクロン氏が勝利し、市場に安心感が広がったこと一などから、ドイツやフランスを中心に株価は前期末を大きく上回る水準で期末を迎えました。一方、英国の株式市場は、イングランド銀行 (BOE・中央銀行) が利上げの実施を示唆したことで英ポンドが主要通貨に対して上昇したことが影響し、株価の上昇幅は限定的にとどまりました。

<アジア株式市場>

アジアの先進国株式市場 (除く日本) は期を通じて上昇しました。期の半ばにかけて北朝鮮のミサイル発射などによる極東アジアの有事が懸念される局面もあったものの、①中国の製造業購買担当者指数 (PMI) などの経済指標から中国景気の底堅さが確認されたこと、②米国の利上げが緩やかに実施されるとの見方が多勢を占めたこと一などが好感され、前期末を上回る水準で期末を迎えました。

<為替市場>

期初1米ドル110円台だった米ドル/円レートは、トランプ新政権に対する政策期待などから一時1米ドル118円台まで上昇したものの、フランス大統領選挙をめぐる懸念やトランプ政権のロシアゲート疑惑などが嫌気されて米ドルは対円で下落に転じました。その後、①2017年9月に開催された米連邦公開市場委員会 (FOMC) で年内3回目となる12月の利上げ予想が維持されたこと、②トランプ政権による減税法案の公表、③10月に実施された衆議院議員総選挙で自由民主党が勝利したこと一などを材料に米ドルは再び対円で上昇に転じ、期末には1米ドル112円台となりました。

期初1ユーロ117円台だったユーロ/円レートは、①フランス大統領選挙でマクロン氏が勝利したこと、②2017年6月に欧州中央銀行 (ECB) が金融政策の正常化に前向きな姿勢を示したこと一などからユーロが対円で上昇し、1ユーロ131円台で期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2016年11月22日～2017年11月20日)

主として、MSC I コクサイ・インデックス・マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の株式に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資にあたっては、為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、主として日本を除く世界各国の株式を投資対象とし、MSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指しました。

具体的には、ファンド内のキャッシュポジションを低位に保ちながら、保有する銘柄のコーポレートアクション（買収、増資、スピノフなど）に対応した結果、ほぼベンチマークに連動したパフォーマンスとなりました。

2016年11月末、2017年2月末、5月末、8月末にベンチマーク採用銘柄の入れ替え（Quarterly Index Review）が行われましたが、ファンドでもこれに対応するための売買を行い、ベンチマークへの連動性を維持する運用を行いました。

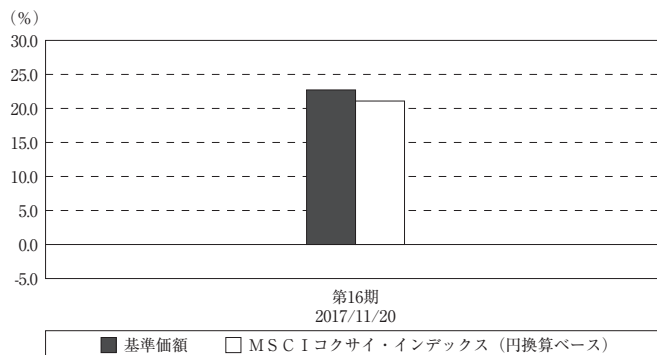
当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年11月22日～2017年11月20日)

当期の基準価額騰落率は+22.7%となり、ベンチマークであるMSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）の騰落率+21.1%を上回る結果となりました。

一般的に、インデックス・ファンドのパフォーマンスがベンチマークから乖離する要因としては、配当金（プラス要因）、信託報酬（マイナス要因）、取引や管理にかかるコスト（マイナス要因）による要因の他、個別銘柄の組入比率がファンドとベンチマークで若干乖離していることによる要因や、ファンド内でキャッシュを保有していることによる要因などがありますが、当期においては主に配当金の要因によりプラスの乖離となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は配当金（税込み）込みです。

(注) MSC I コクサイ・インデックス（円換算ベース）は、ベンチマークです。ベンチマークの詳細は11ページをご参照ください。

分配金

(2016年11月22日～2017年11月20日)

収益分配金につきましては、基準価額水準および市場動向などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、投資信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期
	2016年11月22日 ～2017年11月20日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	17,034

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主として、マザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の株式に投資を行います。また、実質外貨建資産の投資にあたっては、原則として為替ヘッジは行いません。

マザーファンドでは、主として日本を除く世界各国の株式を投資対象とし、MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目指します。インデックス・ファンドの性格に鑑みて、ポートフォリオの最適化に注力してベンチマークとの乖離を極力低くしていきたいと考えています。

お知らせ

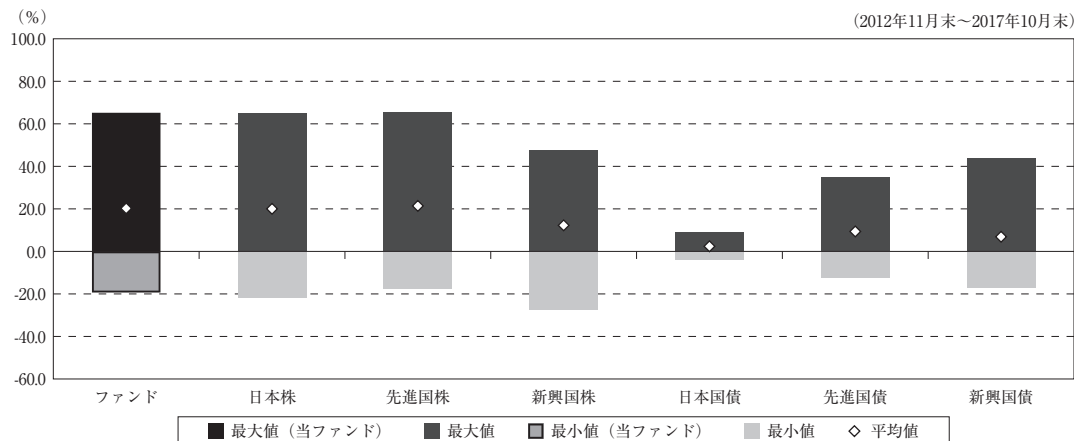
- ・金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律等の改正に係る政令・内閣府令、一般社団法人投資信託協会の諸規則等が施行・実施されたことに伴い、新たに定められた「信用リスク集中回避のための投資制限」の規定に対応するため、関連する条項に変更を行いました。(2017年2月17日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	<p>・「MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うことを基本とします。</p> <p>・実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	インベスコ MSCIコクサイ・ インデックス・ ファンド	MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	MSCIコクサイ・ インデックス・ マザーファンド	世界各国の株式（DR（預託証書）およびカントリーファンドを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	<p>・主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の株式に投資します。</p> <p>・グローバルな収益機会を最大限に追求するため、MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目指します。</p>	
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月19日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に、委託会社が基準価額の水準、市場動向等を勘案し、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	20.2	20.0	21.4	12.3	2.4	9.4	6.9
最大値	65.2	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	-19.3	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年11月から2017年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年11月20日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第16期末
MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

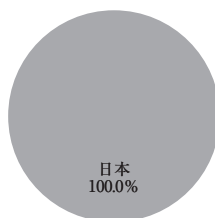
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

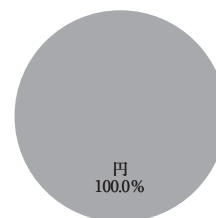
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

純資産等

項目	第16期末
	2017年11月20日
純資産総額	6,202,411,405円
受益権総口数	2,824,275,743口
1万口当たり基準価額	21,961円

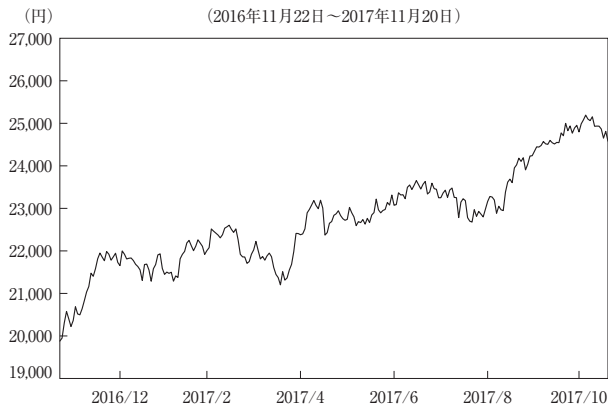
* 期中における追加設定元本額は552,317,080円、同解約元本額は869,365,032円です。

組入上位ファンドの概要

MSC | コクサイ・インデックス・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2016年11月22日～2017年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2016年11月22日～2017年11月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 手 数 料) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	3 (1) (0) (2)	0.013 (0.005) (0.000) (0.008)
(b) 有価証券取引税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.002 (0.002) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (7) (0)	0.032 (0.030) (0.001)
合 計	11	0.047

期中の平均基準価額は、22,621円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2017年11月20日現在)

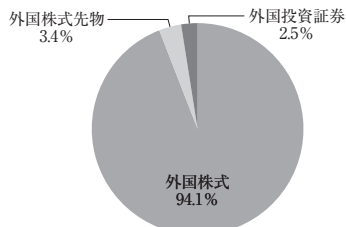
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 APPLE	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	2.4%
2 S&P500 EMINI	株式先物(買建)	米ドル	アメリカ	2.2
3 MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.6
4 AMAZON.COM	小売	米ドル	アメリカ	1.2
5 FACEBOOK-A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.1
6 JOHNSON & JOHNSON	医薬品/バイオテクノロジー/サイエンス	米ドル	アメリカ	1.0
7 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	0.9
8 EXXON MOBIL	エネルギー	米ドル	アメリカ	0.9
9 ALPHABET INC-CL C	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	0.9
10 ALPHABET INC-CL A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	0.8
組入銘柄数			1,343銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

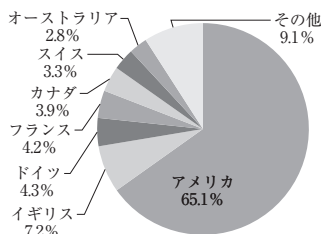
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

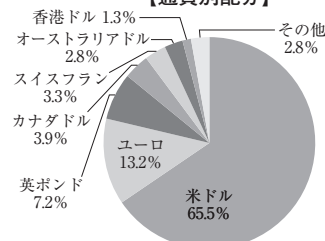
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークとして、MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2017, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.